

かいづ

我孫子市議会議員 市民派・無所属

# 海津にいな

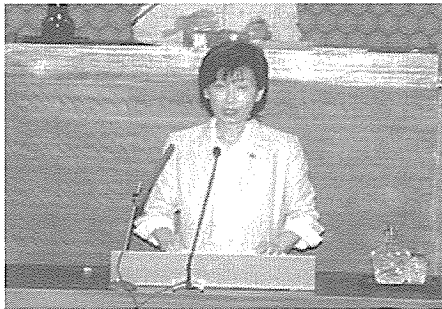
No.11  
2005 夏号

我孫子市つくし野1-22-28  
TEL (04) 7184-9828

## REPORT

(NINAの会) <http://members.jcom.home.ne.jp/nina-san/>  
E-mail : [nina-san@jcom.home.ne.jp](mailto:nina-san@jcom.home.ne.jp)

6月議会は、初の会派代表質問に立ちました。会派を組むと代表質問に立つことができ、最低でも一人で40分を壇上で市長および部長に質問をすることが出来ます。我孫子市議会では、会派に入っていない無所属議員、および個人質問は「議会だより」には掲載されません。私は、初当選以来毎回質問を続けていますが、それらの理由で掲載されませんでした。会派を組むことは、議会の中での多数の意見を纏める交渉手段であり、代表質問者になれるという決まり事でした。(他市町村では、個人質問が掲載される所もあります)



なお、議会だよりは全部の質問事項が載るわけではありません。内容を詳しく知りたい場合は、インターネットで、議事録の検索をしてください。我孫子議会はほぼ10年分の議事録をインターネットで検索できます。(以下のほかに、緑化政策、交通政策、国勢調査と個人情報保護、さわやかな環境作り条例についても質問しています)

### 6月議会、代表質問の主なもの

#### ● 近隣センターのあり方

近隣センターは最初に布佐に設置された。それから20年が経過し、建設がされていない地域とは不公平感がある。つくし野などの我孫子北区域の土地の選定、買収は順調なのか。またこの間に、センターを運営する「まちづくり協議会」や受付業務管理人の雇用でも問題が生じてきた。管理人の雇用は「まちづくり協議会」がパート雇用している(時給720円)をしているが、定年制もない。横柄な人もいて管理人に都合がいい規約

にして、市民から不満の声が上がっている所もある。20年経過し、センター運営の見直しをする時期でもあると思うが、各地区の「まちづくり協議会」独自の運営に任せるばかりでなく、市で統一した基準を作るなどしてはどうか。

#### <市長・部長の答弁>

今は、布佐北区域の地権者の了解が得られた段階で我孫子北区域、湖北北区域はこれからになる。管理人業務については要領を定め、まちづくり協議会に提示している。それを周知させ、今後はセンター管理人の研修を検討していく。

#### ● 庁舎・市民会館の耐震対策

庁舎・市民会館は大地震に対応できない構造で危ないと調査報告書がでて10年になる。特に市民会館は、ポーリング場を改修したもので築年も古くなり、構造的にも問題が多い。市民や学校の催しなどで多数が集まるので、建て替えの計画や安全対策を迅速に進めなくてはいけないが、私が3月の議会で検討委員会を設置するように求めてから何もなされていない。倒壊するような大地震が起きた時に、市民及び職員の生命にかかわる事故が起きた場合は市の責任を問われることにならないか。

#### <市長・部長の答弁>

検討委員会は色々な観点から検討を進める必要があり、7月に設置を予定している。公共施設の老朽化、運営経費など、施設コストを今年度中にまとめて市民に公表して市民の理解を得ていく。



各駅で朝の1時間ほど議会活動の報告(☪我孫子北、☒天王台南、☒我孫子南、☒天王台北、☒その他の地区)を行っています。

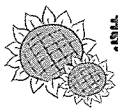
その際もご遠慮なくお声をかけてご意見ください。

## 市政は市民のもの！

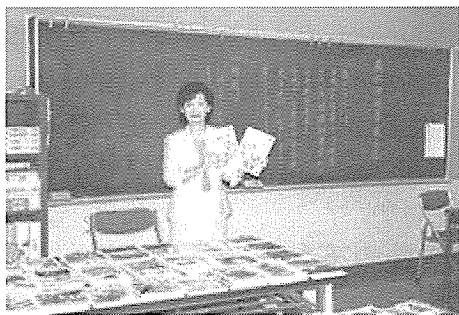
福島市長が初当選したその月に起きたのが阪神大地震でした。庁舎・市民会館について、庁舎問題基本調査会(H.10に要綱設置)では、迅速に建替えなど対応するべしとの専門家の答申も受けていたが据え置きのままでした。

7月23日の地震で常磐線が長時間普通となって、その数日後にも大きな揺れの地震が起きました。我孫子市の場合、学校の耐震改修工事を優先して進めているが、老朽化した庁舎・市民会館の実態を知らせないままでは、大変危険だと考えます。

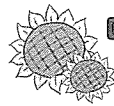
柏市は、阪神大震災直後の芦屋市に職員・議員の派遣を行って援助活動をし、その際に役所の緊急対応、被災地の実態を検分して柏市の地震防災対策を強化しました。私の芦屋の友人・知人も被災して、仮設生活や何年も続く精神的落ち込み、ストレスを聞いていましたから、人ごとではなく受け止めています。災害時の初動体制の重要性、まして、当市は庁舎が防災本部が倒壊の恐れもあるのですから、柏市以上に日頃からの地震対策が重要なのです。近々に検討委員会で図っていくのも当然です。我孫子市民の安全安心を考えて、当市も真剣に地震対策を進めるよう、私は今後も議会で求めていきます。



## 教科書検定の教科書展示で 湖北台東小を訪ねる



6月議会には、教科書採択に関する陳情が3件も出されていました。うち2件は、タイトルも文面が同じなのに市内と柏から出されていました。もう1件も、前述の柏の同人物による陳情で、組織的な取り組みとも受け取れました。



## 中国(北京市)で シンポジウムに参加 一心の交流こそ大切



シンポジウムでは靖国神社のことや教科書のこともやはり槍玉に上がりましたが、こちらの説明を聞いて、察しのいい中国の若手学者は、もっと友好を深める努力しようと理解してもらえました。

## 議員定数の削減、可決

議会のたびに、毎回質問する議員は少ない。議会でまったく質問しない議員もいます。日常、議員の仕事は市民には見えないものです。そのため行財政改革の一つとして、議員定数の削減が言われるようになりました。我孫子市議会では、会派の中からも声があがり、次回選挙から議員定数を2名減らして28名にすることになっています。

削減するなら議員の報酬を削減して数を減らさない方法もあります。私の議員仲間は町議もいますが、彼女達は市議より報酬がぐんと少なくてもシッカリ働いています。近隣市の中で、議員立法に取り組もうとして動き出すのも女性議員でした。これからは、団塊の世代の地域Uターンが始まると言われます。その男性たちが地域を活性化させる議員に立候補するようセミナーを開き、有能な人材を議員として多数確保したらどうでしょう。60歳、70歳で初当選の女性がいるのですから、十分ありえる話です。議員報酬を押さえれば、全体の支出は削減できると私は考えたのですが、皆様はどうお考えになるでしょう。

## 事務所フリースペース

つくし野1-22-28 tel/7184-9828

ワイワイとおしゃべりする楽しい地域づくり、まちづくりの第一歩としてフリースペースを開設しました。お気軽にいらしてください。

行政書士、弁護士、などの専門家による相談会(初回のみ無料)も開設します。予約制ですので、お問い合わせください。

